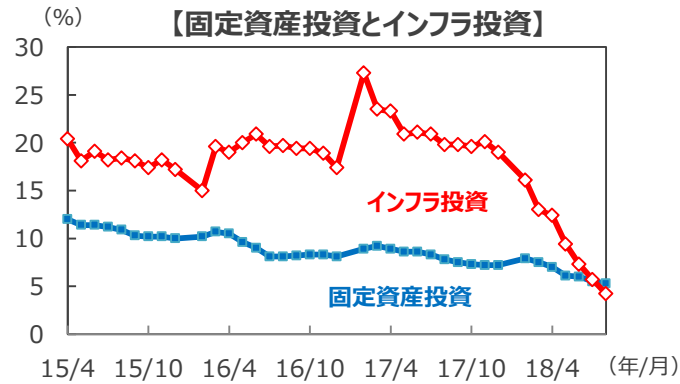


## 今日のトピック 投資鈍化が続く中国経済（2018年9月）

# 政策対応で景気減速ペースは緩やかなものに

### ポイント1 固定資産投資は更に鈍化 インフラ投資の減速が続く

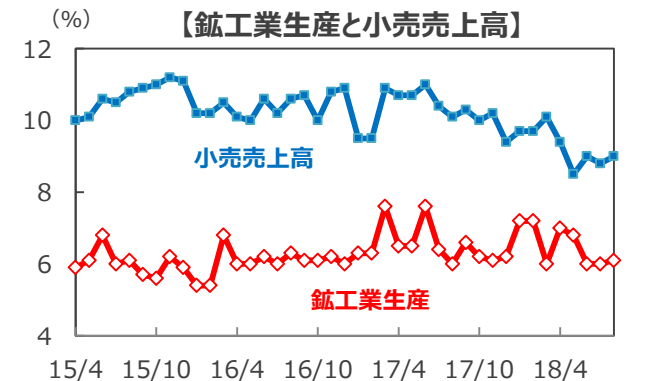
- 中国国家统计局は14日、主要経済指標を発表しました。1～8月の固定資産投資は前年同期比+5.3%と市場予想（ブルームバーグ集計、同+5.6%）を下回り、1～7月（同+5.5%）から伸び率が更に縮小しました。
- 内訳をみると、インフラ投資が同+4.2%となり、1～7月（同+5.7%）から一段と減速しました。一方、不動産開発投資は同+10.1%と1～7月に引き続き+10%の伸びを維持しました。



(注) データは2015年4月～2018年8月、年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 鉱工業生産はやや加速 小売売上高もやや加速

- 8月の鉱工業生産は前年同月比+6.1%と市場予想通りで、7月（同+6.0%）から伸び率がわずかに拡大しました。コンピューター、通信その他電子機器が同+17.1%となるなど、IT関連の生産は引き続き高い伸びが続いています。
- 8月の小売売上高は前年同月比+9.0%と市場予想の同+8.8%を上回り、7月（同+8.8%）から伸び率が小幅に拡大しました。自動車販売が低迷しましたが、日用品が伸びました。



(注) データは2015年4月～2018年8月、前年同月比。  
1、2月は1～2月の年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 政策対応で景気減速ペースは緩やかなものに

- 貿易摩擦を巡る交渉においては、中国政府は米国の挑発に乗ることなく、ハイテク・知的財産問題では安易な妥協を行わないと思われます。このため、米中の貿易摩擦は長期化するとみられます。
- 米国との貿易摩擦の拡大に備え、中国共産党は7月31日の中央政治局会議で、「積極的な財政政策」と「穏健な金融政策」により、景気安定を優先する姿勢を明らかにしました。今後地方の開発案件の前倒しなどによりインフラ投資は持ち直し、事実上の金融緩和により不動産投資は堅調さを維持すると考えられます。政府の景気配慮型の政策対応により景気減速ペースは緩やかなものになるとみられます。

**ここもチェック!** 2018年9月7日 中国株式市場の動向（2018年9月）  
2018年9月3日 中国の『PMI』は予想に反して上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。